

[トップ](#)[朝刊・夕刊](#)[LIVE](#)[Myニュース](#)

## 埼玉に「見沼たんぼ」あり 観光・環境対応に潜在力

[埼玉](#)[フォローする](#)

2024年4月7日 5:00 [会員限定記事]

[保存](#)

自らの農地を生かして農村体験塾「ファーム・インさぎ山」を立ち上げた萩原さん⑤

さいたま市内を中心とする約1260ヘクタールもの広大な緑地空間「見沼たんぼ」が話題になることが増えている。埼玉県の経済トップが見沼たんぼを中心とした観光振興に期待を寄せる一方、新たな樹木の栽培による脱炭素社会の推進に向けて産学官連携による実証実験が進む。見沼たんぼをどう生かすかが、埼玉県の発展に向けた課題の一つになりつつある。



「埼玉県はインバウンド（訪日外国人）をうまく生かしたほうがいい。例えばさいたま市には見沼たんぼのような外国人が喜びそうなツーリズムを組めそうなところもある」。県商工会議所連合会の池田一義会長は県内の観光振興の課題について最近、こんなことを話していた。

池田会長の念頭にはこれまでの県のインバウンド集客力の弱さがある。日本政府観光局のまとめによると、新型コロナウイルス禍前の2019年に埼玉県を訪れたインバウンドの比率は1.06%で全47都道府県中24位にとどまる。東京都の47.2%、千葉県の35.1%、神奈川県の7.8%と比べても格段に低い。

だが、実は見沼たんぼでは、じわりインバウンドも含めたにぎわいの芽が育ちつつある。「見沼たんぼ地域ガイドクラブ」の代表を務める黒沢兵夫さんは11年のクラブ発足から見沼たんぼを訪れる家族連れなどの案内に力を入れてきた。コロナ禍前は年間約1000人にガイド。コロナ禍でがくんど減ったが、いまは6、7割まで戻っている。



「見沼たんぼ地域ガイドクラブ」の黒沢代表

クラブ発足時はガイドを求める人は少なかったが、広大な見沼たんぼを楽しむコースを紹介するガイドマップをつくるなど工夫するうちに徐々に増えてきた。その中には外国人が混じることもある。同クラブだけでなく、見沼たんぼの魅力を発信するボランティアなどの団体は着実に広がっている。

農家も見沼たんぼの魅力発信に力を入れる。10代は続くという農家に嫁いだ萩原さとみさんは1997年、農村体験塾「ファーム・インさぎ山」をスタート。初回は22組の家族らの参加で始まったというが、いまでは年間1万人が農業や農のある暮らしを体験しようと集まるようになった。

一部のコースでは野菜の苗を植えたり田植えをしたりして、収穫した作物は持って帰れる。味噌づくり体験や餅つき、しめ縄づくりなどを体験する機会もあり、萩原さんらが無農薬無化学肥料で育てた野菜などを素材に手作りした農家の食事も楽しめる。代表は息子に譲ったが、インバウンド客も増えており、萩原さんは「外国人の対応にこれからもっと力を入れていきたい」と意欲を示す。

見沼たんぼは壮大な社会実験の場にもなっている。2月、埼玉大学、さいたま市、ジーピック合同会社（さいたま市）は「見沼田んぼグリーンカーボン推進事業に関する協定」を締結した。インド原産の樹木で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の吸収率が非常に高いとされるモリンガの栽培によるCO<sub>2</sub>吸収と固定量の定量化、成長モデルの開発に向けた実証試験に取り組む。



埼玉大学大学院の藤野教授は「見沼たんぼグリーンカーボン推進事業」などに取り組む

モリンガは栄養素が豊富なことも特徴で、埼玉大学産学官連携協議会の埼玉グリーンインフラSDGs研究会参加企業がサプリメントやパスタ、クッキーなどの商品開発にも取り組んでいるほか、今後は全国の遊休農地などで栽培して地域活性化につなげる構想も進みつつある。

同研究会代表を務める藤野毅・埼玉大学大学院理工学研究科教授は「見沼たんぼが豊かな自然を残し、いろいろな生物がいる生態系も確保していることが身近なところで研究できる要因」と話す。新たな特産品や温暖化防止のノウハウも見沼たんぼから全国に発信できるようになるかもしれない。

(田中博文)

**見沼たんぼ** 埼玉県内でさいたま市と川口市の2市にまたがる広大な緑地空間。さいたま新都心駅や大宮駅などの主要駅から2、3キロメートルという近さにある。江戸時代中期の干拓事業で現在の基礎が整えられた。土地の利用形態は現在、畑が最も多い。総延長20キロメートルを超える「日本一」という桜回廊をはじめ、多くの見どころがある。

#### 【関連記事】

- ・[「埼玉の原風景」どう守る 都市近郊、緑保全の難しさ](#)
- ・[埼玉県で農と食の見本市、モリンガの新商品も](#)
- ・[武蔵野銀行の農業チャレンジ 小麦に加え米作りも](#)

## **日本経済新聞社の関連サイト**

### **日本経済新聞社について**

### **日経電子版について**

[サイトポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [利用規約](#) | [ヘルプセンター](#) | [よくある質問](#) | [訂正・おわび](#) | [著作権](#) |  
[リンクポリシー](#) | [クッキーポリシー](#) | [外部送信](#) | [プライバシーセンター](#) | [電子版広告ガイド](#) | [法人のお客さま](#)

No reproduction without permission.

お問い合わせ

サイトに関するご意見ご要望